

あけましておめでとつございます。皆さまにおかれましては、穏やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は市制70周年の節目を、皆さまとお祝いすることができました。年齢や立場を越えて楽しくつながる姿は、土岐市の新しい可能性を強く感じさせるものでした。

市政運営では「愛着のもてるまちづくり」「地域を支えるひとづくり」「健やかでいきがいのもてる暮らしづくり」を3つの柱としつつ、人口減少対策にも取り組み、若者の出会いの場をつくるイベントの開催、小中学校への入学準備応援金の支給、保護者がお子さんとの関わり方を学び、仲間をつくる講座を実施するなど、地域の「やわらかなインフラ」となる施策を進めてまいりました。まちの骨格となる事業では、市内の南北を結ぶ重要な道路「陶元浅野線」が開通し、交通の利便性が向上



土岐市長
加藤 淳司

しました。地域医療の要となる「公立東濃中部医療センター」は、2月の開院に向けた準備が進んでいます。産科・分娩の機能も開始の見通しが立ち、「安心して産み、安心して育てる」環境が整います。

重点施策のうち、読書推進事業は、移動図書館車が市内を巡り、本を通じた集いの場が生まれています。お子さんから高齢者まで健康で生きがいを持って暮らせるまちを目指す「ときげんきプロジェクト」は、市民歯科健診の充実などを通じて、健康づくりの環（わ）を広げています。

美濃焼と土岐市の魅力を発信する新しい博物館は、令和11年の開館に向けて動き出しています。

本年も、土岐市の魅力をさらに高め、次の時代につながる取り組みを進めてまいります。

皆さまにとって実り多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

あけましておめでとつございます。市民の皆さまにおかれましては、晴れやかな新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より市議会に対しましてご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、市制70周年の節目を市民の皆さまとお祝いし、これからの80年、90年、そして100年の未来を展望する1年でありました。市内各地でさまざまな記念イベントが催される中、9月には市役所庁舎で多くの市民の皆さまをお迎えし、職業体験イベント「わくわくワークときめきランド」が開催されました。市議会も「クイズ議場へGO」を開催し、多くの子どもたちと交流を図ることができました。

その一方で、物価高騰や自然災害など、市民の皆さまが不安を感じられることも多くある中、誰もが安心して暮らせるまちづくり、住んでよ



土岐市議会議長
後藤 正樹

かったと実感できるまちづくり、住み続けたいと思えるまちづくりを進めるため、市議会は、その役割と責務を果たすための取り組みにまい進してきました。こうした取り組みの一環として、議会報告会を市内各地で開催し、多くの市民の皆さまにご参加いただきました。さまざまなご意見をいただきましたことで、市議会が向き合ふべき課題や、市議会としてのあるべき姿を改めて確認することができました。

今後市民の皆さまの代表機関として行政の監視や政策の提言を行うことはもちろんのこと、市民の皆さまから信頼される市議会であるための改革をさらに推進しつつ、市民の皆さまと一体となって土岐市の発展のために力を尽くしてまいります。

結びに、皆さまにとって本年が希望に満ちた実り多い年でありますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

新年 賀 謹